

## Chrome Book の使用について保護者説明資料

### 1 はじめに

現在日常生活の中に ICT が生活に浸透してきました。スマートフォンなどの端末を用いて様々な手続きを行うなど欠かせない道具となりつつあります。生徒たちが活躍する未来において、ますます ICT があたりまえのものになっているであろうと予想されます。そのような時代において生活の基盤となるのが、ICT 機器が目的達成の手段の一つであることを理解し、正しく利用できることであります。GIGA スクール構想というのは、すべての生徒たちに自分の将来を切り拓くための入口を提供することだと考えます。

本校ではこの GIGA スクール構想を「附中×GIGA」と称し、「ICT を活用した生徒と共に創る授業はどうあるべきか」や「ICT をとりまく問題をどう解決すべきか」といったことを、生徒と一緒に考え、実践することで「情報を活用する力」を資質・能力として身につけることをめざしています。この取組については、本校 HP などを通して、発信していこうと考えています。何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 2 「附中×GIGA」の取組について

#### 【「附中×GIGA」に込めた思い】

これまで附属中学校で  
培ってきた伝統やよき

×

ひとりひとりのグローバルで創造的な学びを実現するためにネットワーク環境を整備し、Chromebook などの ICT 機器を利用して情報を活用する能力を育む機会

=

これからの未来を創り、生き抜くための資質・能力を身につける

#### 【情報を活用する能力(仮)※これから附中生にとって必要な資質・能力を】

端末を使うこと自体を目的とせず、ICT の良さを理解して自分の生活リズムの中に取り入れることができる

A 情報活用の実践力	B 情報に関する科学的な理解	C 情報社会に参画する態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT の基本的な操作方法がわかる</li> <li>情報を根拠として話し合うことができる</li> <li>課題や目的に合わせて情報を集めたり、整理したりする</li> <li>受け手の状況を考えて伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい情報を読み取る</li> <li>情報を正しく扱ったり、評価・改善したりするためのプログラミング的思考を身につける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルを身につけ、発信する情報に関して責任を持つ</li> <li>新しいこと(情報社会の創造)に挑戦しようとする</li> </ul>

#### 【ICT 活用の基本的な指導方針(重点)】

可能な限り制限を取り除いた中で ICT を正しく、より良く利用するスキルと態度を磨く

##### ①情報モラルについて正しく理解する (ICT 端末を扱う者としての態度=自己責任を自覚した行動)

「できる」からやって良いではない。「できない」からやってはいけないではない。⇒「する」か「しないか」が大事

##### ②目的に合う正しい活用をする(誘惑に負けて手遊びの道具にしない)

学習道具として正しく使うことは、文房具などと同じです。

##### ③自分を正しくコントロールする

普段の生活でしないような書き込みは、当然クラウド上でもしません。

ご家庭でも声かけをお願いします。  
「ダメなことはダメなんです。」  
「有効に使える人になろう。」など

### 3 端末貸与について（同意書の提出をお願いします）

①端末は大分大学から使用者に貸与されたもので、使用者の卒業後、次の新入生が使用することになりますので、使用時のみならず、持ち運びのときも丁寧・適切な取り扱いを行います。

⇒生徒は、貸与された学習道具という認識のもと、壁紙等の設定を変更しません。

⇒保存については、各自のアカウントにある Google ドライブに保存するようにさせています。

⇒キーボードやディスプレイを意味もなく雑に打っている生徒を見かけます。声かけをしましょう。

⇒学習のために使用を許可されたクラウドサービスおよびアプリ以外は使用させないようにしましょう。

※不適切なサイトにアクセスしないようにしてください。

②公序良俗に反すること、貸出・転売等の違法行為はもとより、生活のリズムを崩すような使用はしません。

③各校園より使用を許可されたクラウドサービスおよびアプリケーションだけを使い、各校園の教育活動に係る学習目的以外には使用をしません。

④各校園で定めた「端末利用の留意事項」や教員の指示を守り、学習内容の理解を深められるように正しく使用します

⇒前述にある「指導方針（重点）」をご理解いただき、目的に合った正しい使い方をめざします。

⇒Chromebook には、多様な機能があります。エチケットとマナーを意識し、正しく利用させましょう。

ルールの抜け道をねらった使い方をしたり、知識を悪用したりするのはやめさせましょう。

⇒学校では、原則教員の管理の下で使用します。

※将来、ご家庭の端末とほぼ同じセキュリティー状態でも正しく利用できることが「附中×GIGA」のめざす生徒の姿です。

⑤故障・破損・紛失等の事由が生じた場合には、速やかに学校に届け出を行い、学校の指示に従います。

※盗難の場合は警察に届け出をし、その証明を受けてください。

※使用者に重大な過失があった場合は、弁償及び修理費の負担をしていただく場合があります。

⑥家庭に持ち帰り、端末を利用する場合は保護者の責任の下で使用し、以下の点に留意します。

・インターネットに接続する場合は自宅で契約している Wi-Fi に接続します。（コンビニ等のフリーWi-Fi への接続はしません。）

・充電については各家庭で行います。

⇒生徒が申し出る不具合の中には、Chromebook の設定を変更したことによるものが原因であることが多数あります。原因調査に多大な時間を浪費しますのでデフォルトの状態で使用させてください。

⇒自然に使っていて少しでも異変を感じたら、すみやかに各学年の ICT 担当職員に申し出させてください。メーカー保証期間の都合もありますのでご協力をお願いします。

⇒フリーWi-Fi に接続しないのは、クラウドの安全安心な管理のためです。主旨を理解していただき、学校または自宅以外の場所で使用するのを控えさせてください。

### 4 アカウントの扱いについて

各種サービスを利用するために大学よりアカウントを発行しています。ID およびパスワードは適切に管理をさせていただきます。第三者に見せないように指導しています。 ※与えられたパスワードは、変更させないでください。

アカウントはその人だけの権利であり、他者のアカウントにログインした時点で「不正アクセス」となり法律違反となります。絶対にさせないように声をかけましょう。ただし附中 ICT 管理権限者が保守点検・動作確認のために生徒アカウントにログインし、操作を行うことがありますのでご理解ください。

【Chromebook 以外で利用可能なアプリケーション（R3.6現在）】

①デジタル教科書（英・数） ②すららドリル ③あしたね（2年生） ④技術で使うプログラミング用アプリ

## 5 端末・インターネットの特性と個人情報の扱い方について

自分にとって危険な行動や他人に迷惑をかける行動をしないように、端末やインターネットの特性と個人情報の扱い方を正しく理解しながら使用することが重要だと指導します。ご家庭でも声かけをお願いします。

(例) 本人の許可を得ることなく写真を撮ったり、録音・録画したりしません。

他人を傷つけたり、嫌な思いをさせることを、ネット上に書き込みません。

情報を安易に信じ、あたかも真実であるかのように拡散するような行為はしません。 等  
※インターネット上は特別ではありません。日常生活ではならないことはしないと教えましょう。

※ネットトラブルを起こさないように細心の注意をはらうように声をかけましょう。

## 6 健康への配慮について

以下の留意点について、自らの健康について自覚を持ち、時間を決めて遠くを見て目を休めたり、意識的に時々まばたきするなど、リテラシーとして習得させましょう。

### 【全般】

- ・良い姿勢を保ち、目と端末の画面との距離を 30cm 以上離す(目と画面の距離は長ければ長い方が良い)
- ・30 分に 1 回は、20 秒以上、画面から目を離して遠くを見て目を休める
- ・画面の反射や画面への映り込みを防止するため画面の角度等を調整する
- ・部屋の明るさに合わせて端末の画面の明るさを調整する

### 【家庭】

- ・就寝 1 時間前からは ICT 機器の利用を控える
- ・家庭において、利用時間等のルールを定める

## 7 付属品の扱いについて

CB を円滑に使用するために以下のものについて使用を許可します。自己管理をさせてください。ただし使用目的が異なる場合不要物の持ち込みとみなされますので注意してください。

【各自で準備するもの】マウス、タッチペン(使用できないものもあるので注意)、イヤフォン

【今後家庭で必要になる可能性があるもの】CB を充電するための USB ケーブル(typeC)

## 8 緊急事態等でリモート授業を行う場合について(ご家庭でお声かけをお願いします。)

○学校から指定された時間に指定された方法でアクセスをします。(各 classroom > Meet )

○制服を着用します。(身だしなみは学校と同じルールで)

○接続しない携帯電話・スマホ・タブレット等の不要物を授業中に扱いません。※手元に置かない。

○勝手な発言をしません。※基本的にはミュートにする。発言をする場合のみミュートを解除する。

○なにか不具合があった場合にはホスト(先生)へチャットで知らせます。

○通信障害でミーティングから退出してしまった場合は、接続をし直します。

○背景に注意します。※映り込みに注意する。また必要に応じてイヤフォンやマイクを使用する。

Meet 上で背景を変えないようにします。

○授業に集中して取り組めるように環境を整えます。

※トラブルや不具合等に関する連絡先については、その都度ご連絡します。(さくらメール等を利用)

私たちおとなも一緒にこれからの未来に備えるつもりで生徒たちと一緒にスキルアップをめざしましょう。

## Chrome Book の使用について(留意事項)

## 学習者用端末使用について

- (1) 今年度より附属中学校に在籍する生徒一人1台の端末を貸与し、学習を実施します。
- (2) 端末は、一年間同じ端末を使用します。機器は下の学年の生徒が使用するので、丁寧適切な取り扱いをお願いします。また、利用規定の詳細は、状況を見ながら随時更新します。
- (3) 様々な教育コンテンツ<sup>注1</sup>を柔軟に使用するために、各種クラウドサービスを利用いたします。使用するクラウドサービス<sup>注2</sup>は以下の通りとし、生徒の「学習成果物」等もクラウド上で安全に管理されます。個に関する情報は、氏名などシステム運用上最小限必要な情報のみを扱い、住所や電話番号等は取り扱いません。生徒も自他の個人情報の扱いには十分配慮して使用するものとします。

## ○使用クラウドサービス

・プラットフォーム Google Workspace( G suite for Education )

閲覧ブラウザ ドキュメント スプレッドシート **classroom** Googleドライブ GoogleKeep等

※Googleアプリの一部は、フィルタリングによって使用できないものもあります。

・導入アプリ すらら AIドリル 5月中旬以降開始

デジタル教科書(数学、英語) 等

※個人的にアプリをインストールことはできません。

- (4) クラウドサービスを利用するために、大学より一人1アカウント<sup>注3</sup>を発行します。ID およびパスワードを記載した用紙は、家庭で大切に保管し、第三者に見せないようにします。このアカウントについては、各種管理サイトにて管理します。 ※与えられたパスワードは、変更しないでください。
- (5) 感染症や災害などによる長期休業期間中、また学校から連絡があった場合、家庭に端末を持ち帰って学習を行うことがあります。
- (6) 貸与された端末では、学校で設定した Google Workspace のみにアクセスできます。他のアカウントは使用できません。
- (7) 端末には、学校はもちろん、家庭のネットワークに接続した場合でも有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリング等を設定しておりセキュリティー対策を講じています。またご家庭にある別の端末で Google Workspace にログインをするには、指定の手順で大学のセキュリティーゲートを通過することになります。 ※当面の間は、貸与された端末以外でのログインは控えていただきます。
- (8) 故障、破損、紛失、盗難等の事由が生じた場合は、速やかに学校に申し出た上で、指示に従ってください。修理等については、学校で対応しますが、故意または重大な過失による破損や紛失の場合は、自己負担となる場合があります。
- (9) ご家庭における使用の頻度や時間等について、またネットマナーやモラルについては、家庭での話し合いをお願いします。

注1 各教科等の授業で活用する写真、動画、音源などあらゆるデジタル素材

注2 ネットワークを経由し、クラウドの中にあるソフトウェアやデータを使用するサービス

注3 生徒(ユーザー)がネットワークやクラウドサービスおよび各種サイトにログインできる権利のこと